



2022年11月10日

各 位

上場会社名 五洋建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 清水 琢三
(コード:1893 東証プライム・名証プレミア)
問い合わせ先 経営企画部長 遠藤 淳一
(TEL. 03-3817-7545)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2022年5月13日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

○連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	515,000	31,500	31,000	21,000	73円66銭
今回修正予想(B)	485,000	22,500	21,500	14,500	50円85銭
増減額(B-A)	△30,000	△9,000	△9,500	△6,500	
増減率(%)	△5.8%	△28.6%	△30.6%	△31.0%	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	458,231	15,939	15,659	10,753	37円72銭

○個別業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	470,500	28,000	27,500	19,000	66円65銭
今回修正予想(B)	450,500	20,500	19,500	13,000	45円59銭
増減額(B-A)	△20,000	△7,500	△8,000	△6,000	
増減率(%)	△4.3%	△26.8%	△29.1%	△31.6%	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	428,991	13,324	13,179	9,129	32円03銭

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって記載の見通しとは異なる可能性があります。

2. 業績予想修正の理由

(1) 個別業績予想

売上高は、前回予想比 200 億円減少の 4,505 億円（前回予想比 4.3%減、前期比 5.0%増）となる見込みです。国内土木では、大型港湾工事を除く通常案件の上半期の受注が出遅れたことにより、当期受注案件による当期完成工事高が期初予想を下回る見込みとなったことが主な要因です。国内建築では、大型再開発工事を除く上半期の受注高が前期比で減少したことや手持ち工事の着工時期の遅れが要因です。

営業利益は、前回予想比 75 億円減少の 205 億円（前回予想比 26.8%減、前期比 53.9%増）となる見込みです。国内土木においては、完成工事高の減少に加え、前期に高採算工事が竣工した影響により利益率が低下したこと、船舶の稼働が期初予想を下回る見込みとなったことから、前回予想から 35 億円減少となる見込みです。国内建築においては、完成工事高の減少に加え、建設資材価格の高騰などにより、前回予想から 20 億円の減少となる見込みです。また、海外においては、為替の影響、燃料や資材、労務費の高騰に加え、船舶の稼働が期初予想を下回ることから、前回予想より 20 億円の減少となる見込みです。

これらに伴い、経常利益及び当期純利益につきましても、それぞれ前回予想比 80 億円減少、60 億円減少の 195 億円（前回予想比 29.1%減、前期比 48.0%増）、130 億円（前回予想比 31.6%減、前期比 42.4%増）となる見込みです。

(2) 連結業績予想

主に個別業績予想の修正に伴い、売上高 4,850 億円（前回予想比 5.8%減、前期比 5.8%増）、営業利益 225 億円（前回予想比 28.6%減、前期比 41.2%増）、経常利益 215 億円（前回予想比 30.6%減、前期比 37.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 145 億円（前回予想比 31.0%減、前期比 34.8%増）となる見込みです。

以 上

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって記載の見通しとは異なる可能性があります。